

経済社会をデータと

社会科学で読み解き

活躍できる経済人へ

Faculty of Economics

経済学部

▶ 経済学科 (仮称 設置申請中)

経済学科
平 航介 福岡県 八女高等学校出身

〈学部の特色〉

2027年4月より、従来の3学科(経済・経営・経済法)を統合した「1学科5ユニット体制」へと進化します。最大の特徴は、経済・経営・法学の社会科学的思想プロセスに、現代社会で不可欠なデータサイエンス基礎力を融合させた点にあります。

1年次に社会科学・データサイエンスの基礎を学び、社会課題の把握を行います。2年次からは5つの専門ユニット(デジタル、政策、エリア、マーケティング、会計・ファイナンス)を選択し、学びを深化させます。また、行政や企業と連携した「社会課題演習」や「プロジェクトマネジメント演習」「フィールド演習」を重視。理論と実践を繰り返すことで、社会の課題を「解像度」高く複眼的に捉え、解決へと導く「プロジェクトマネジメント人材(ブリッジ人材)」を育成します。

■ 教育目標

社会課題を解像度高く複眼的な視点で捉え、戦略・政策を立案・実行できる「プロジェクトマネジメント人材」を育成することを、教育の目的とします。

アドミッション
ポリシーはこちら



■ 在学生インタビュー



目の前の人の幸せに寄与できる仕事で 地域社会に貢献したい

オープンキャンパスの際に、「ここでは役に立つことしか教えていない。役に立たせられるかどうかは、自分の学習の深め次第」という教授の言葉を聞き、ここで多様な人と協働しながら学んでいきたいと強く感じたことが決め手となりました。今は羽石ゼミに所属し、主にインターン活動に参加し、週一回の講義でも、毎回企業の方と協働してイベントの企画や運営に携わっています。大学入学前から都市圏ではなく地域産業に重きを置きたいと考えていたので、実際に地域密着型の学習を受けて、そのやりがいや難しさを実感しているところです。また、ゼミやインターフェース科目ではグループでの活動がメインとなるため、周囲の意見を聞きながら、自分の意見を必要な場で、適切な熱量で伝えるスキルが身についたと成長を感じています。

原口 こはる 福岡県 久留米商業高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



デジタル社会に対応した学びを重ね 経済を見通せる力を養成

01 社会科学×データサイエンスで プロジェクトマネジメント人材へ

経済の基礎となる社会科学の思考プロセスと、デジタル化が進む今後の社会に求められるデータサイエンスの基礎を学びます。その上で、理論と実践を繰り返す多彩なカリキュラムで学びを深め、社会課題を解決に導くためのプロジェクトマネジメント力を養成します。



1年次	2年次	3年次	4年次
基本科目 〔必修7科目〕 ●基本統計学 ●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本経済数学 ●基本経営学 ●基本簿記会計 ●基本法学	データサイエンス科目 (データサイエンスの基礎を学ぶ) ●データサイエンス入門 ●経済データ分析実践 ●数理統計学 ●会計学 ●社会調査論 ●経済統計学 ●統計学演習 ●計量経済学 など	データドリブン科目 (データサイエンスを駆使してより実践的に学ぶ) ●オペレーションリサーチ ●ロジスティクスマネジメント ●経営財務論 ●行動経済学 ●実証産業組織論 ●地域経済分析 ●ファイナンス論 ●管理会計論 ●計量政治学 ●国際貿易論 ●政策シミュレーション ●労働経済学 など ●マーケティングリサーチ ●空間情報システム ●原価計算論 ●財務会計論 ●政策評価分析	プロジェクトマネジメント ●デジタルマネジメント ●マーケティングマネジメント ●政策マネジメント ●会計・ファイナンスマネジメント ●エリアマネジメント
社会課題演習 〔必修1科目〕 ●社会課題演習	プロジェクトデザイン科目 (社会科学における専門的知識を修得し、社会課題への対応能力を養う) ●財政学 ●金融論 ●企業論 ●民法総則 ●知的財産法 など	演習科目 プロジェクトマネジメント演習(ゼミナール) ユニットと連動した少人数制のきめ細やかな指導	演習科目 フィールド演習(プロジェクトマネジメント演習の成果などを外部機関共同演習として実施)
基礎科目 〔必修4科目〕 ●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●プロジェクトマネジメント ●マーケティング戦略	実践科目 : 企業・団体提供講義 など 特殊講義 : 国際交流実習 など	教養教育	

プロジェクトマネジメント人材の輩出
社会課題に対応する調査企画・分析・解釈能力を持った人材

02 早い時期から少人数ゼミ制を導入し 学生主体の学びを深く

1教員あたり10~20名程度の学生による少人数演習を4年間実施。1年次には経済学の基礎を学びながら、社会課題演習を実施します。ここで培った問題意識を、2~4年次の演習ではユニットに分かれて学んでいきます。ゼミプロジェクトでは、学生主体の社会課題解決プログラムも実施します。



地元企業の調査など、学生主体で行うプロジェクト

亀山ゼミ「企業・行政と連携したデータ分析とイベント実施」

3年次のゼミでは、学生企画の実施協力を企業・団体に要請し、承諾いただいた連携先とアンケート調査やデータ分析を行い、報告書を作成し、学生主催のシンポジウムを実施します。仕事の進め方を知り、確固たるガクチカを構築します。



羽石ゼミ「長期インターンシップ」

2・3年生合同のゼミでは、2年間にわたり企業担当者と毎週連携し、実際の企業課題に取り組みます。ICT(情報通信技術)を駆使して業務の一部をインターンシップ形式で遂行。この実践的な課題解決を通じて、「主体性」「協働性」「課題発見力」といったビジネススキルを磨き、社会で通用する即戦力人材を育成しています。



03 新たな学びの単位・ユニットを設定し 理論×実践で、より専門的な学びに

ユニットは新たな学びの単位です。1年次で経済・経営・法学およびデータサイエンスの基礎を学んだ上で、2年次からゼミに所属。さらに2年次後期には、ゼミに推奨されたユニットを選択することで理論と実践を組み合わせる学びを深め、より解像度を上げた学びが実現します。



5つのユニット 5 UNITS

デジタルマネジメント

データサイエンスで社会課題を可視化して分析し、解決策を提示する

政策マネジメント

マクロ経済分析の対象となる社会課題をデータで理解・分析し、解決策を提示する

エリアマネジメント

人口減少下のまちづくりの諸課題をデータで理解・分析し、解決策を提示する

マーケティングマネジメント

経営やマーケティング、起業の際の課題をデータで理解・分析し、解決策を提示する

会計・ファイナンスマネジメント

社会課題を会計やファイナンスの知識を用いて理解・分析し、解決策を提示する

04 学外でのリソースを活用し より発展的、実践的な学びを展開

これまで経済学部では、多くの企業・団体、行政機関と連携し、実践的な教育を実施してきましたが、今後も学外のリソースを積極的に取り入れ、多様な視点での学びを考えています。第一線で活躍している方々の実践的な知識など、社会のリアルを聞き、学び、成長につなげます。

社会課題演習

多様な問題に対して学外の専門家から講義を受け、学生は内容を自分でまとめた後に、周囲の学生に説明します。「知識を知る~考える~論理的に伝える」を繰り返し、言語的コミュニケーション能力を鍛えます。

外部講師による講義

学外の専門家による講義を受け、実際に社会で活躍する方々の実践的な知識や経験に触れながら学ぶことができます。また、卒業生との交流会も定期的を実施し、実社会で働く先輩方から生の声を聞く機会も設けています。

フィールド演習

企業・団体、行政機関などと連携したフィールドワークを行い、授業で得た知識を実社会にどのように活かすのかを探求します。実社会に即した多様な課題に取り組むことで、プロジェクトマネジメント能力を高めていきます。



ビジネスに必要なデータ・数字を読み解く力 大学で学んだことが活かされています

株式会社アイリスロボティクスは、法人向け清掃ロボットで国内シェアNo.1を誇っており、その中で私はお客様にスムーズな契約・請求をするための新システムの運用を行っています。私が入社している仕事に限らず、ビジネスの場ではデータ・数字が非常に重要となってきます。その点で言えば、大学時代の卒業論文作成などで、数値化する力や物事への着眼点が鍛えられましたし、その時に培った数字感覚は現在も大いに役立っています。大学時代の思い出と言えば、大好きな友達とともに過ごしたことです。一生一緒にいたいと思える仲間とはなかなか出会えるものではないので、今でもとても大切な存在です。仕事でも、コミュニケーションはとても重要です。これからも周囲を巻き込みながら、スピード感を持って業務を順調に進めていける社会人になりたいです。

アイリスオーヤマ株式会社 株式会社アイリスロボティクス
栗田 悠衣さん 経済学科 2025年3月卒業
〔業務内容〕契約や請求をするための新システムの運用



詳細情報はこちら

新しい技術や社会の変化にも
柔軟に対応できる
人材になりたい



高校では理系でしたが地域活性化などに興味を持つようになり、学生主体の社会課題解決プログラムにも力を入れている佐賀大学経済学部を選びました。2年次からは3つのフィールドに分かれますが、私は「地域と国際」を選択し、国際経済学や政策評価分析などを学んでいます。2年次から始まるゼミ活動では亀山ゼミに所属。2年次では企業訪問を行い、3年次では行政や企業と連携して課題解決のための提言を行うなどの企画に取り組みます。フィールド選択とゼミ選択があることで、自分の学びたいことが学べていると感じています。ゼミ活動では自主性とマネジメント力が身につくとともに、先輩や企業の方々と交流する機会を持てたことで視野が広がり、将来就職したい企業をより具体的に考えられるようになりました。

経済学科
上村 愛莉 鹿児島県 鹿児島中央高等学校出身

経済学科の紹介

経済・経営・法の3領域を一つの学科で横断的に学べます。
1年次にこれら3分野とデータサイエンスの基礎を必修科目として網羅し、社会を捉える多面的な視点とデータに基づいた分析力を養います。
2年次以降はユニット制を通じ、経済学と経営学と法学などを組み合わせるなど、従来の学科の枠組みを越えた専門性の構築が可能です。
3分野の知見を自在に操り、複雑な現代社会の課題へ多角的かつ実効的な解決策を提示できる力を磨きます。

主な進路

- 〈主な就職先〉
 ●富士通 ●日立製作所 ●NTT西日本 ●NTTデータ ●東京海上日動火災保険 ●楽天 ●大和証券 ●キーエンス ●ファーストリテイリング ●ニトリ ●SCSK ●日立ソリューションズ ●Qinet ●YE DIGITAL ●JR九州システムソリューションズ ●木村情報技術 ●JASM ●SUMCO ●安川電機 ●九州電力 ●クラフティア(九電工) ●九州旅客鉄道 ●西日本鉄道 ●福岡銀行 ●西日本シティ銀行 ●佐賀銀行 ●経済産業省 ●金融庁 ●佐賀県庁 ●福岡県庁 ●東京都庁 ●各市町村 ●高等学校教諭
- 〈主な進学先〉
 ●九州大学大学院 ●佐賀大学大学院

カリキュラム一覧(デジタルマネジメントユニット)

下記カリキュラムは、デジタルマネジメントユニットの標準モデルを示しています。各科目の開講及び履修時期はユニット選択や年度により前後する場合があります。

	1年次	2年次	3・4年次	
教養教育科目	基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
	英語A 情報基礎概論 大学入門科目I	英語B	英語C/英語D	
経済学系科目	●基本ミクロ経済学 ●基本マクロ経済学 ●基本統計学 ●基本簿記会計 ●基本経営学 ●基本法学 ●基本経済数学	●ミクロ経済学 ●マクロ経済学 ●プロジェクトマネジメント ●マーケティング戦略 ●日本経済論 ●経済学史 ●社会情報論 ●民法総論 ●データサイエンス入門 ●社会調査論 ●経済データ分析実践	●計量経済学-UD- ●会計学-UD- ●統計学演習-UD- ●経済・統計数学 ●数理統計学 ●マーケティングリサーチ-UIE-Uマ- ●原価計算論-U会- ●財務会計論-UIE-U会-	●都市経済学-UD-UIE- ●開発経済学-UD-UIE- ●経営情報論-UD-UIE- ●経営組織論-UD-UIE- ●知的財産法-UD-Uマ- ●公共経済学-UD-UIE- ●日本経済史-UD-U会- ●刑法総論-UD-
	●現代の経営 ●実践会計	●証券市場分析 ●ビジネス基礎英語	●金融論-U政-U会- ●財政学-U政-U会- ●産業組織論-UIE-U会- ●農政経済論-UIE- ●経営労務論-UIE-U会- ●アジア経済史	●行動経済学-UD-Uマ- ●労働経済学-UD-U政- ●ファイナンス論-UD-U会- ●国際貿易論-UIE-Uマ- ●空間情報システム-UIE-Uマ- ●地域経済分析-UIE- ●ロジスティクスマネジメント-Uマ- ●管理会計論-Uマ-U会-
経営学系科目		●環境経済学-U政-Uマ- ●日本農業論-U政-Uマ- ●企業論-U政-U会- ●経営戦略論-Uマ-U会- ●経営管理論-Uマ-U会- ●Asian Economics	●ブランド戦略論-Uマ- ●物権法-UIE-U会- ●刑法各論-UIE-Uマ- ●社会保障法-II-Uマ- ●行政法総論-U政-U会- ●労働法II ●政治学	
		●ビジネス・コミュニケーション英語 ●国際交流実習	●現代の労働 ●PRデザイン	●マーケティングマネジメント-Uマ- ●債権法-UIE-U会- ●労働法I-UIE-Uマ- ●社会保障法I-U政- ●社会保険法 ●憲法-U政- ●行政救済法 ●会社法
	●社会課題演習	●プロジェクトマネジメント演習2年-4年	●市民と法	

- 基本科目
 - 基礎科目
 - データサイエンス科目
 - データドリブン科目
 - プロジェクトデザイン科目
 - 演習科目
 - 実践科目・特殊講義
- 太字:必修科目
赤字:ユニット指定科目
UD:デジタルマネジメントユニット
U政:政策マネジメントユニット
- UIE:エアマネジメントユニット
Uマ:マーケティングマネジメントユニット
U会:会計・ファイナンスマネジメントユニット
※各ユニット指定科目より10科目を修得する

授業紹介

マーケティングリサーチ



マーケティング課題の解決に向け、仮説や調査設計、データ収集・分析、戦略的解釈など、市場データに基づく戦略立案の具体的な方法について学びます。

知的財産法



著作権、特許、商標、営業秘密、模倣品対策などに関する重要な法規範を説明し、基礎的な知的財産観を育て、法解釈の現状や立法の動向を共有します。

行動経済学



つい選択を誤ってしまうのはなぜでしょうか。実際の社会事例への実践の社会事例への議論を通じ、消費者や企業に潜む非合理性と経済学の関係について体感的に学びます。

研究室・ゼミ紹介

空間分析ゼミ



GISや各種データを活用して、地域の空間構造や経済活動を分析します。現地調査とデータ分析を通して、社会課題を空間的な視点から実証的に考察します。

経営財務論ゼミ



企業の財務活動に関する基礎知識を身につけ、実際の会計数字や株価データを用いて企業の経営状態を定量的に評価する方法について学びます。

日本経済論ゼミ



わが国の雇用制度、社会保障、金融システムなどを諸外国と比較して、その特徴を学び、日本社会が直面している様々な問題の解決策を考えていきます。

刑法ゼミ



交通犯罪、冤罪、犯罪者の社会復帰、少年非行、薬物犯罪、被害者支援など刑法に関係する多数のテーマを取り上げて、現状の問題と対策を考察します。

教員紹介

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 内山 真由美 教授
刑法 | 金子 晋右 教授
経営史 |
| 亀山 嘉大 教授
政策評価分析 | サーリヤ ディシルバ 教授
開発経済学 |
| 品川 優 教授
日本農業論 | 角田 幸太郎 教授
管理会計論 |
| 藺田 竜之介 教授
日本経済論 | 中西 一 教授
財政学 |
| 中村 博和 教授
統計学 | 野方 大輔 教授
経営財務論 |
| 羽石 寛志 教授
経営情報論 | 早川 智津子 教授
労働法 |
| 平部 康子 教授
社会保障法 | 関 康 教授
マーケティングリサーチ |
| 山本 長次 教授
経営史 | 吉田 友紀 教授
産業組織論 |
| 伊藤 正哉 准教授
経済学史 | 笠井 文雄 准教授
公益事業論 |
| 谷 晶紅 准教授
マーケティング | 篠崎 伸也 准教授
ファイナンス論 |
| 孫 友容 准教授
知的財産法 | 太宰 北斗 准教授
行動経済学 |
| 田村 一軌 准教授
空間情報システム | 中山 泰道 准教授
民法 |
| 洪 廷和 准教授
マーケティング論 | 安田 伸一 准教授
情報処理 |
| 山形 武裕 准教授
財務会計論 | 相浦 真二郎 助手 |

卒業生の主な卒業論文テーマ

- 訪日韓国観光客の日本旅行に対する意識調査-佐賀のインバウンド展開の方向性-
- ライブやコンサートのチケット転売問題について-チケットに対する支払意思額から-
- 佐賀県内における障害者就業支援の現状と課題
- MaaSの新たな公共交通モデル「参加型公助」の提案と制度設計-佐賀県の交通空白地帯解消を目指して-
- コーポレートガバナンスの国際比較-所有構造を中心に-
- ホームセンター業界のターゲット
- 外食産業による利益追求のための原価管理
- 同一労働同一賃金法制
- ゆめタウン佐賀店-旧西友佐賀駅前店からみる大規模小売店舗立地法-都市計画法
- 九州新幹線西九州ルートにおける可能性と課題点およびそれらの考察